※裏面に記入のポイント記載あり

調査票1

就学児個別サポート調査・給付決定時調査　調査票
【放課後等デイサービス】

調査対象児童 氏名	

調査日時	年　　月　　日

陳述者	（　母　・　父　・　祖父母　・　その他　）

（所属）日野市	※市記入欄 （調査担当者）

※適切な支援・環境が整っていない状況（例：保護者がいない状況、初めての場所）を想定。「できる時とできない時がある場合」は「できない場合」に基づき判断してください。
※年齢相応として見た様子ではなく、お子さまに対して純粋に行った支援の量を考慮し、裏面の記入のポイントを参考に記載してください。

個別サポート調査　調査項目	判定結果欄			給付決定時調査項目との対応
	介助なし	一部介助	全介助	
① 食事	☐	☐	☐	項目①
② 入浴	☐	☐	☐	項目②
③ 排泄	☐	☐	☐	項目③
④ 移動	☐	☐	☐	項目④
※上記①～④の3項目以上「全介助」に☑が付いた方は、以下⑤～⑳のチェックは不要です	支援不要 （0点）	支援が必要な場合がある （1点）	常に支援が必要 （2点）	給付決定時調査項目との対応
⑤ コミュニケーション	☐ 口頭で可	☐ 特定の人のみ可、特定の場面のみ可、ツール利用で可	☐ 一方的、オウム返しのみ、ツール使用も不可	項目⑩
⑥ 説明の理解	☐ 簡単な口頭での説明可	☐ 理解できないことが多い。ツール利用やジェスチャーを要する。	☐ 理解できない。理解できているか不明。	項目⑩
⑦ 大声・奇声を出す　物を使って不快な音を出すことを含む。	☐	☐ 月に1回以上ある。	☐ 週に1回以上ある。	項目⑤
⑧ 異食行動	☐	☐ 飲み込みはしないが口に含む。防止するため配慮が必要。	☐ 口に含み、飲み込んでしまう。防止するため配慮が必要。	項目⑥
⑨ 多動・行動停止	☐	☐ 月に1回以上ある。	☐ 週に1回以上ある。	項目⑤
⑩ 不安定な行動	☐	☐ 月に1回以上ある。	☐ 週に1回以上ある。	項目⑤
⑪ 自らを傷つける行為	☐	☐ 該当行為がある。	☐ 常時見守り、個別対応が必要な状態	項目⑦
⑫ 他人を傷つける行為	☐	☐ 該当行為がある。暴言、侮辱、物を壊す行為を含む。	☐ 常時見守り、個別対応が必要な状態。暴言、侮辱、物含む。	項目⑦
⑬ 不適切な行為　過度に親しげに振舞う（抱きつく等）。嘘をつく。SNS 等で不適切な発信。意図的に保護者や職員に反抗する。	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑦
⑭ 突発的な行動　突然走り出す。危険の認識が弱く、飛び出す、高い所から飛び降りる等	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑤
⑮ 過食・反すう等　過食、拒食（環境の変化によるものを含む）。過飲水。極端な偏食。嘔吐。アレルギー食、宗教食対応。刻み食やミキサー食	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑥
⑯ てんかん	☐ 過去にてんかん歴無し	☐ 経過観察中。服薬対応は行っていない。	☐ 診断あり（服薬での予防を含む）。発熱時に抗けいれん剤	項目⑤
⑰ そううつ状態　安定剤服用。睡眠障害の治療、服薬。自殺企図。「そう」または「うつ」どちらか一方に該当を含む。	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑧
⑱ 反復的行動　TV のフレーズを繰り返す、特定の玩具しか遊ばない。機械類や光るものをずっと見ている。ルーティン行動。	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑨
⑲ 対人面の不安緊張・集団への不適応　感覚過敏、チック症状含む	☐	☐ 月に1回以上	☐ 週に1回以上	項目⑩
⑳ 読み書き	☐ 文字の読み書き、意味理解可能。	☐ 一部理解できる。書くことはできないがPC等代替手段を使用できる。	☐ 文字を理解できず、絵カード等必要。外国語の翻訳が必要。	項目⑪
			⑤～⑳の合計点数	点

※市記入欄

個別サポート加算（Ⅰ）の対象の判定　※以下のいずれかに該当		
加算対象		①～④の3以上が「全介助」になる。
加算対象		⑤～⑳の✔の合計が 13 点以上になる。 **⇒強度行動障害該当判定も行うこと**
対象外		それ以外

調査票1

就学児個別サポート調査・給付
【放課後等デイサ

※記入にあたってのポイント

※介助なし…何らかの支援が無くても、一連の行為の全てを自分で行うことができる場合
※一部介助…一連の行為について、部分的に（必要に応じて随時）支援が必要な場合
※全介助…一連の行為について、全面的に（常時）支援が必要な場合

①食事（例）
一部介助…安全面での見守りや声かけが必要。食べ物を食べやすくする等の支援を行っている
全介助…行為の目的や内容を理解していない。経管栄養などを行っていて、全面的に支援を受けている

②入浴（例）
一部介助…身体を洗ったり拭いたりする行為が不十分なため、部分的にやり直している
全介助…全面的にやり直している。洗顔や洗髪に強い拒否がある。清拭しか行えない。

③排せつ（例）
一部介助…拭き取りが不十分であり、支援者がやり直している。促されないとトイレに行くことが難しい。
全介助…拭き取りを全て支援者が行っている。尿意を自分から伝えられない。オムツ、尿取りパッド等を利用している。

④移動（例）
一部介助…道順や手段にこだわりがある。公共交通機関でパニックになる。途中で立ち止まったり座り込んだりする
全介助…常時手つなぎや抱っこが必要。バギーや車イスなどの移動用具が必要。道路への飛び出しがある

⑧異食行動（例）…食べられないものを口に入れたり飲み込んだりする。未然に防止するために配慮が必要

⑨多動・行動停止（例）・・絶えず走り回る、喋る、常時身体の一部を動かしている。特定の物や人に強い関心を持ち、こだわって動けなくなる。

⑩不安定な行動…特定の人や物に固執することで安定を図り、それが無くなったり変更されたりすると不安定になる。突然の予定変更が受け入れられない。

調査対象児童氏名		陳述者	

※適切な支援・環境
※年齢相応として見

個別サ				定項目
① 食事				
② 入浴				
③ 排泄				
④ 移動				

	支援不要（0点）	支援が必要な場合がある（1点）	常に支援が必要（2点）	給付決定時調査項目との対応
⑤ コミュニケーション	□ 口頭で可	□ 特定の人のみ可、特定の場面のみ	□ 一方的、オウム返しのみ、ツー	項目⑩
⑥ 説明の理解				⑩
⑦ 大声・奇声を出す（物を使っ				⑤
⑧ 異食行動				⑥
⑨ 多動・行動停止				⑤
⑩ 不安定な行動	□	□ 月に1回以上ある。	□ 週に1回以上ある。	項目⑤
⑪ 自らを傷つける行為	□	□ 該当行為がある。	□ 常時見守り、個別対応が必要な状態	項目⑦
⑫ 他人を傷つける行為	□	□ 該当行為がある。暴言、侮辱、物を壊す行為を含む。	□ 常時見守り、個別対応が必要な状態。暴言、侮辱、物含む。	項目⑦
⑬ 不適切な行為（過度に親しげに振舞う（抱きつく等）。嘘をつく。SNS 等で不適切な発信。意図的に保護者や職員に反抗する。）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑦
⑭ 突発的な行動（突然走り出す。危険の認識が弱く、飛び出す、高い所から飛び降りる等）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑤
⑮ 過食・反すう等（過食、拒食（環境の変化によるものを含む）。過飲水。極端な偏食。嘔吐。アレルギー食、宗教食対応。刻み食やミキサー食）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑥
⑯ てんかん	□ 過去にてんかん歴無し	□ 経過観察中。服薬対応は行っていない。	□ 診断あり（服薬での予防を含む）。発熱時に抗けいれん剤	項目⑤
⑰ そううつ状態（安定剤服用。睡眠障害の治療、服薬。自殺企図。「そう」または「うつ」どちらか一方に該当を含む。）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑧
⑱ 反復的行動（TV のフレーズを繰り返す、特定の玩具しか遊ばない。機械類や光るものをずっと見ている。ルーティン行動。）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑨
⑲ 対人面の不安緊張・集団への不適応（感覚過敏、チック症状含む）	□	□ 月に1回以上	□ 週に1回以上	項目⑩
⑳ 読み書き	□ 文字の読み書き、意味理解可能。	□ 一部理解できる。書くことはできないがPC等代替手段を使用できる。	□ 文字を理解できず、絵カード等必要。外国語の翻訳が必要。	項目⑪
			⑤～⑳の合計点数	点

※市記入欄

個別サポート加算（Ⅰ）の対象の判定　※以下のいずれかに該当		
加算対象		①～④の3以上が「全介助」になる。
加算対象		⑤～⑳の✔の合計が 13 点以上になる。 ⇒強度行動障害該当判定も行うこと
対象外		それ以外